

くるわっうしん

# QURUWA通信

かわまちづくり特集！

つくる？みつける？新しい川との過ごし方  
乙川の過去から現在・これからの移りかわり

あなたは、まちどう過ごす？





写真①

# 楽しい場所からあぶない場所へ!? 乙川の移りかわりを たどります！

## ちょっと昔の乙川は？

桜の時期と花火大会の時は、観光客、散歩や花見を楽しむ人々で賑わう乙川河川敷。でも、「かわまちづくり」の取り組みが始まった数年前の時点では、そうしたイベントがある時以外はほとんど使われていないような状況でした。「なぜ、乙川河川敷は使われないのでしょうか?」「昔から使われていなかったのでしょうか?」そんな疑問から、ちょっと昔の乙川の使われ方について調べてみました。

昭和30年代には殿橋と岡崎城の近くに貸しボート屋があり(写真①)、多くのカップルが舟遊びを楽しんでいたそうです。その頃の水辺の風景が、後の「乙川リバーフロント」のまちづくりにつながりました。



乙川沿いにたたずむ親子の姿

## 徐々に使われない場所へ……

「乙川リバーフロント地区かわまちづくり協議会」の委員を務める鈴木雅美さんは、今から

30年以上前から乙川を有効活用しようと活動されていました。鈴木さんが1980年に創設した岡崎のタウン誌をさかのぼると、当時の野心的な啓発活動をうかがい知ることができます。

乙川河川敷をスポーツや文化活動の場としてローラースケートやジョギング、バードウォッチングなどの活用を呼び掛ける特集記事や、乙川を上流からカヌーで下り、川から見る自然環境の素晴らしさを伝える企画(写真②)、花火大会の棧敷を使って開催されたコンサートなど、今なお、色あせない魅力的な水辺活用が展開されていたことに驚かされます。



写真②(「リバーシブル」第7号より)

しかし、時の移り変わりと共に治水対策による河川整備が進み、貸しボート屋は消え、コンクリート製の護岸は子どもたちを川から引き離してしまい、安全性や苦情への対応などからルールが厳しくなるにつれ乙川が徐々に使われない場所になってしまったのです。



このような危険を促す看板が目立つように設置され、近寄りがたい場所になっていました

## 私たちの新しい挑戦、 かわまちづくりへ……

さらに時代は流れ、国が水辺の有効活用を推進するようになり、かつて乙川に親しんだ先人たちが、活用するためのルールや河川敷空間を整えて、今一度、乙川が使える環境をつくりました。

平成27年3月30日、愛知県管理の河川では初となる、国土交通省「かわまちづくり支援制度」に岡崎市が登録されました。

「かわまちづくり」とは、河川とその周りのまちを隔てなく市民に使ってもらえるような空間づくりを目指す取り組みのことです。

そして同年11月26日、乙川河川敷(吹矢橋～名鉄鉄橋)が河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域に指定され、事業者等がお店を出したり、イベントを開い

## 乙川のまめちしきコーナー



宮川洋一さん



竣工時(昭和2年7月)に行われた式典と「渡り初め」を見ようと訪れた見物客

## 乙川にかかる「殿橋」の形

最大の魅力は多柱式の橋脚。柱と梁を井桁状に組む古来の形ですが、下からのぞくとまるでパルテノン神殿のよう。12径間のアーチはリズムミカル♪兩岸の石垣上には、岡崎石工作成の親柱が堂々と鎮座します。



坂部勝也さん



吹矢橋たもとの水車小屋で「花火つくり」を行う菅生町の若者

## 夏の乙川を彩る「三河花火」の伝統

花火大会の際には鉾舟が乙川に浮かび、舟上では「手筒花火」水面では「金魚花火」による、打ち上げ奉納が行われます。かつては9以上の舟が行き交い、優雅さや度胸を競いながら護国繁栄を祈りました。

たりできるようになりました。これをきっかけに、岡崎市、民間事業者、市民が河川の管理者と一緒に「観光産業都市」の創造に向けて、乙川の豊かな水辺空間を活かしたまちづくりに取り組むことになったのです。

先人たちの想いを受け継ぎ、川への愛着や親しみを感じられるような活動や風景を次の世代につなげることができのでしょうか。乙川河川敷の使い手としてのバトンを受け取った私たちの新しい挑戦が始まりました。

具体的に「かわまちづくり支援制度」でどんな活動が生まれてきているのか、詳しくは次のページへ！



「かわまちづくり支援制度に係る計画」登録の伝達式



<教えてくれた人>

鈴木雅美さん  
乙川リバーフロント地区  
かわまちづくり協議会委員



# 乙川の新たな過ごし方を見つけよう！

岡崎市が進めているQURUWA戦略(※)の一環で、乙川河川敷の規制を緩和し、民間の方々に使っていただくという趣旨のもと、「おとがワ！ンダーランド」という取組みを実施しています。これらの仕組みを使うことで、通常では認められていない民間事業者による営業行為や河川敷内での様々な活用（水上利用、火気使用、宿泊行為など）が認められ、これによる新しい活用の風景が乙川に生み出されています。ここでは、そんな新たな乙川の風景を生み出している方の思いと活動の一部を紹介します。

※ 乙川リバーフロント地区内の豊富な公共空間を活用した公民連携プロジェクトを実施することにより、QURUWAの回遊を実現し、波及効果として、まちの活性化（暮らしの質の向上・エリアの価値向上）を図る戦略。



川浦素詳さん  
Parlor Newport Beach

2018年は7月上旬～11月下旬までと暑さ寒さ、間に台風シーズンも挟んだ、かつてないロングラン。ご来場頂いたすべてのお客様、プロジェクトを支えていただいた皆様にただただ感謝の思いです。ありがとうございました！！

## 【殿橋テラス（Parlor Newport Beach）】

殿橋たもとに設置される期間限定のリバーサイドカフェ「殿橋テラス」。常設化を目指し、2016年から実験的な取り組みを行っています。テラス上では、期間中カフェ・バー営業が行われ、それまで通り過ぎただけだった場所にて、新たな風景が生み出されています。



浅野茂さん  
waileo SUP school & tours

まちなかの自然、乙川で新しい日常を手に入れませんか？見馴れた風景が、日常が、水上にたたくむだけで新鮮なものに変わります。「朝 SUP・夕 SUP」是非参加してみてください！気持ちいいですよ！！

## 【SUP（スタンドアップパドルボード）体験】

SUPとはボードの上に立ってパドルで漕ぐ、水上アクティビティ。流れが穏やかな乙川は初心者でも安全に楽しめます。体験会や大会の他、日常生活のスキマ時間を利用した普及プログラムも実施します。SUPに乗って新しい日常を手に入れよう！



白井宏幸さん  
(株) ツツイエンターテイメント

民謡「五万石でも岡崎様は城の下まで舟がつく」と唄われた岡崎城下の乙川に舟遊びを復活させてく、花見の時期と夏休みに運行しています。今後は、多くの人が訪れる時には、岡崎独自の川遊びとして定着できるよう頑張っていきます。

## 【岡崎城下舟あそび】

サギの群生地や夕日、夜景が楽しめる各種クルーズなど、友人や家族と、いつもとは少し違った目線から、乙川沿いや岡崎公園の風景をお楽しみいただけます。他花火大会時の観覧船や櫓漕ぎ体験やカヌーなど、水上を楽しむプログラムも開催しています。



(左) 内田康介さん  
(右) 合原明広さん  
乙川ナイトマーケット実行委員会

地域に根付いたナイトマーケットを目指して、出店者さんを常時募集しています！不慣れな方でも出店しやすいように、テントやテーブル、照明のレンタルも行っていますので、お気軽にお問い合わせください☆

## 【乙川ナイトマーケット】

「岡崎城下を流れる乙川で、岡崎名物の一つとなるような夜市を開催したい。」そんな思いから始まり、第4土曜日は市内外のお店が乙川を彩ります。子どもも大人も楽しめる。そこに行けば誰かに会える。アットホームな夜市をお楽しみください。





# ／まだまだあるよ！こんな過ごし方／



## 【レンタサイクル&こども自転車教室】

サイクリングに最適な河川敷の環境を活かした自転車プログラム。本格的なスポーツバイクの試乗会や、乙川を発着点にしたまちなかサイクリング、自転車教室等、自転車の楽しさを味わえるプログラムを実施しています。

乙川河川敷は自転車で走ると気持ちいい！子どもたちが安全に自転車に乗れる環境。乙川で日常的に自転車を楽しむ姿を定着させていきます。



井上徹さん  
サイクルびっとイノウエ



## 【おとがわ！星空観望会】

空が広く、まち明かりが少ない河川敷の立地を活かし、大きな天体望遠鏡で星を観る会を毎月開催。季節によって変化する星の魅力をスタッフが丁寧に解説してくれますので、初めての方や、小さいお子様にもおすすめです。

あなたのまちに星は見えていますか？見えなくても頭上には常に星がありますよ。時には乙川河川敷に来て、みんなで星と遊びましょう。



神谷紀行さん  
岡崎星と遊ぶ会



## 【HANDMADE SELECT MARKET】

セレクトされたハンドメイド作家による水辺のマルシェ。会場には市内外の選りすぐりのショップが立ち並びます。作家の個性豊かな作品や、美味しいご飯を楽しみながら、のんびりとした時間をお過ごしください。

会場周辺でのんびり過ごしたり子どもたちと遊んだり、このマーケットをひとつのツールとして水辺ライフを見つけ出してくださいね。



青山具寿さん  
ハセマ実行委員



## 【新鮮野菜の朝市】

毎月第1、3土曜日に開催されている新鮮野菜の朝市。市内の耕作放棄地で耕して作られた、採れたて野菜が並びます。人気の野菜はすぐに売り切れてしまうことも。散歩ついで、お立ち寄りください。

丹精込めて育てた旬の野菜を、第1と第3土曜日に乙川河川敷にて安全品質と安心価格でお届けしています。



(左) 藤山尊司さん  
(右) 成瀬安彦さん  
NPO法人おかざき農遊会



## 【みんなのおとがわ】

子どもたちの遊び場を乙川につくりたい。そんな思いを抱く大人が協力し、子どものための場づくりを行います。新しいことにチャレンジし、発見する。かけがえのない思い出の場から、まちとの関係を問い直します。

年齢や障がいの有無に関係なく交わり遊び、お互いに様々な価値観に触れることが、子どもたちの未来を広げる！という想いで開催しています。



(左) 石原空子さん  
(右) 猪飼由美子さん  
みんなのおとがわ実行委員会



## 【まちなかでの地域材活用】

地産木材のまちなか活用を啓発する取り組み。間伐材丸太の薪割り、単管パイプを木質化した「モクタンカン」の活用など、規模はまだ小さくも、木に触れる暮らしの実践から、森の健康を考えるきっかけづくりを行います。

乙川の水源地である額田の森から生まれた地元木材。その香りや温もりをまちづくりや暮らしの中に取り入れていきませんか？



(左) 唐澤晋平さん  
(右) 堀 竜二さん  
(一社) 奏林舎・岡崎製材(株)

あなたもいきなり明日から！  
お気に入りの水辺ライフを見つけよう



川の中に何かいるかな？



ラジオ体操して健康ウォーキング♪  
川のおそうじをみんなで毎月やってるよ！



思いきり走りまわって遊ぼう！



車が通らないからジョギングにぴったり！

桜並木沿いをサイクリング。きもちいいね。



息をのむ夕焼けの乙川



風がぬける乙川で夜涼み～

平日、休日。朝、昼、夜。  
世代を問わず様々な人に寄り添う  
乙川の日常が増えますように……。



# 少し先のまちの景色に、あなたの未来を重ねよう。

現在、乙川周辺で進行中のプロジェクトを一挙紹介。



## 乙川かわまちづくり事業

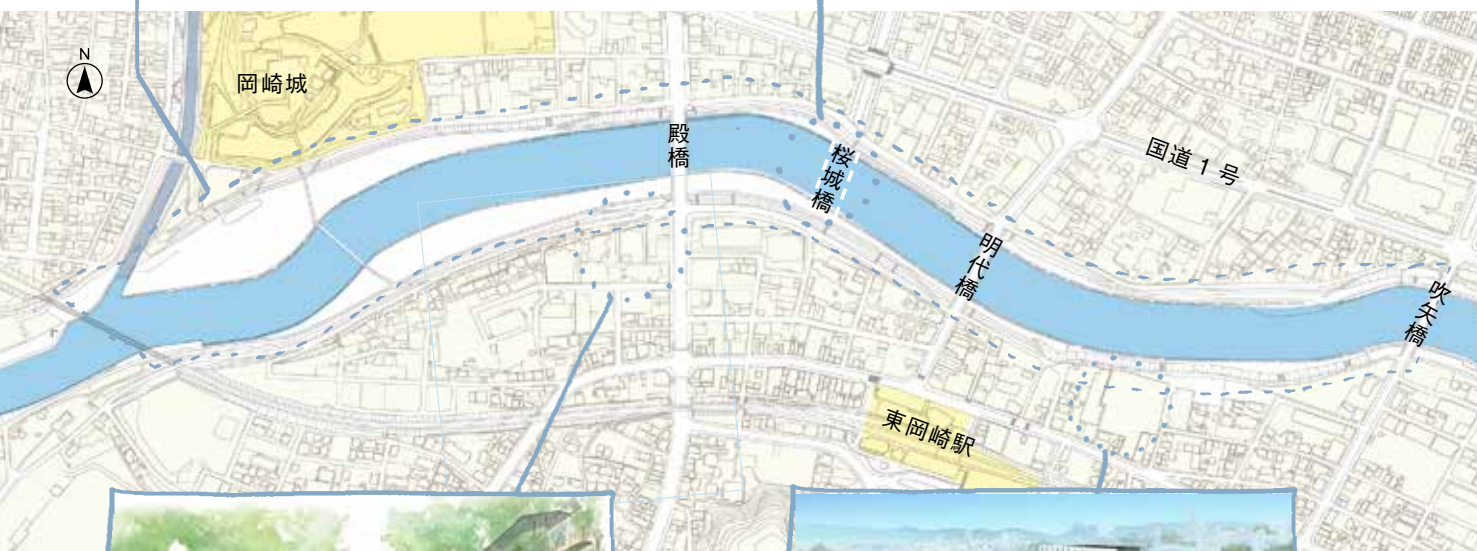
規制緩和により実現した河川空間での観光船運航や殿橋テラスにおけるカフェなど、様々な民間事業が連携するプロジェクト



## PPP活用公園運営事業

### (桜城橋橋上広場・橋詰広場)

公園人道橋の桜城橋橋上広場とその橋詰広場約2,800㎡の公園用地を活用し、Park-PFIによる民間活力を導入し、休憩所、飲食店などを整備、運営するプロジェクト



太陽の城跡地から河川敷のイメージ

## PPP活用拠点形成事業(太陽の城跡地)

約8,000㎡の市有地で事業用定期借地などによりシティーホテル、コンベンション、リバーベースを民間一体的整備するまちの拠点形成プロジェクト



東岡崎駅北東街区完成イメージ

## PPP活用拠点形成事業(東岡崎駅北東街区)

名鉄東岡崎駅に隣接する約6,600㎡の事業用定期借地権を設定した市有地で、商業等の都市機能を担う民間事業者を核に、河川空間を含め一体的に活用するプロジェクト



名鉄東岡崎駅、桜城橋、籠田公園、りふら、岡崎城など公共空間の各拠点を結ぶ主要回遊動線(主要なまめぐりルート)。かつての岡崎城跡の「総曲輪(そうぐるわ)」に重なるところがあることと、動線が「Q」の字に見えることから「QURUWA(くるわ)」と表記しています。QURUWAの中で様々なまちづくりを展開し、まちの活性化や暮らしの向上を図ります。

